

令和 8 年度 法学部法律専攻

# 基礎演習 募集要項 (第 I 期第 2 次)

応募期間 : 6 月 22 日 (月) 12 : 00 ~ 26 日 (金) 12 : 50

応募方法 : K-SMAPY II (アンケート欄からエントリー)

結果発表 : 7 月 3 日 (金) 20 : 00 予定 (K-SMAPY II)

## 【注意事項】

- ◇ 各クラス 20 名を上限とします。20 名以上の応募があった場合、各教員が指定する方法 (志望理由や課題の記述など) に基づく選考が行われます。また、応募者が 20 名未満の場合でも、志望理由や記述の内容によっては不合格となる場合もあります。
- ◇ 演習の内容や選考方法は担当教員によって異なるので、募集要項をよく読んで確認したうえで、応募するようにしてください。
- ◇ 募集枠に余りがある場合に限り、9 月に第 II 期募集を行います。実施は確実ではなく、希望するクラスで募集が実施されない場合もあるので、ぜひ今回の募集にエントリーするようにしてください。
- ◇ 「基礎演習」では、毎回の出席が原則です。履修中、やむを得ず欠席しなければならない場合には、必ず事前に担当教員に申し出て、その指示に従うようにしてください。

## 【掲載場所】

國學院大學ホームページ :

[トップページ](#) > [在学生・保証人の方へ](#) > [授業・履修](#) > [演習・卒業論文等](#)



担当教員名	佐古田 真紀子				
担当教員の専門分野	民事手続法		開講曜時	木曜5限	
演習の概要					
こんな人に来て欲しい こんな人にお勧め	民事裁判実務に興味のある人、抽象的で小難しいと感じる法律を具体的に理解したい人、グループ・ワークが好きな人				
授業のテーマ	模擬裁判をやってみよう				
授業の目的・内容	<p>この演習では、具体的な事件を題材として受講生がロール・プレイを行い、民事裁判を実演します。この活動を通して、法の適用過程や民事訴訟制度についての理解を深めること、ひいては各々の立場に立って法を適用してみることで、法律を学ぶ意味を体感することを目的としています。</p> <p>前半では、ドラマの鑑賞や裁判所での法廷傍聴を通じて実際の民事訴訟についてイメージできるようにするとともに、訴状・答弁書・準備書面などの書類を作成します。後半では、弁論準備手続、証人尋問、当事者尋問等を実演した後、受講生のみなさん自身で法を適用し、判決書を作成します。これらを通じて民事訴訟の一連の流れを体験します。</p> <p>模擬裁判を進めていくにあたっては、予習として動画を視聴したり、関係する条文や概説書を丁寧に読み込むなどして知識を習得した上で、民事訴訟法の規定に則って手続きを行うことが求められます。</p>				
教科書・参考書	民事手続法概論の授業で使用している教科書				
授業の進め方	基本的に、原告チーム、被告チーム、裁判官チームに別れ、グループ・ワークで活動を行います。チームごとに、その都度、書面の作成等の課題が課されます。なお、民事訴訟法については、同時に開講する民事手続法概論の授業を必ず履修して、学修してください（いずれの教員の授業でも可）。				
身につくスキル	資料の収集		文章の読解	○	答案の作成
	プレゼンテーション	○	文章の作成	○	
	協同作業	◎	ディスカッション	○	
評価方法	平常点（出席状況、参加態度、提出書類）				
選考方法	志望理由により選考します。本演習を志望する理由をK-SMAPYIIの自由記述欄に500字以内で入力してください。				

授業回	内容
第1回	ガイダンス
第2回	民事訴訟の流れを知る②
第3回	【模擬裁判①】訴状を作成する
第4回	【模擬裁判②】答弁書を作成する
第5回	【模擬裁判③】第一回口頭弁論
第6回	裁判傍聴
第7回	裁判傍聴
第8回	【模擬裁判④】弁論準備手続
第9回	【模擬裁判⑤】弁論準備手続
第10回	証明責任について学ぶ
第11回	【模擬裁判⑥】集中証拠調べ（証人尋問・当事者尋問）
第12回	【模擬裁判⑦】集中証拠調べ（証人尋問・当事者尋問）
第13回	【模擬裁判⑧】合議・判決書作成
第14回	【模擬裁判⑨】判決言渡し・振り返り
代替授業	民事訴訟の流れを知る①（オンデマンド型授業として第2回授業の前に実施）

\* 上記日程は模擬裁判の進行状況により変更になることがあります。